

# 特集〔2〕 へき地教育の 推進



へき地教育を推進するに当たつて考  
えなければならないことは、へき地と  
いう地域性からくる教育上の問題、あ  
るいは、小規模学校、複式編制という  
条件や形態から生じる課題にどのよう  
に対応し、実践するかである。

この計画・実践においては、これま  
で困難点や劣性のみを直視しがちであ  
りましたが、最近では、逆に、へき地  
の学校、小規模学校、複式学校がもつ  
特性を見直し、積極的に生かすことにな  
りてきています。これは、へき地、小規模  
複式学校のみができる教育を実践しよ  
うというへき地教育への積極的な取り  
組みのあらわれであります。

## 一、へき地の特性を生かす学校経営

### (一) 少人数を生かした学校経営

「発言や直接体験の機会が多い」  
「直接指導の密度が濃い」「大胆な指  
導法がとれる」などの長所を生かし、  
基礎的・基本的事項を身につけ、一人  
一人の能力やよさを生かし育てる指導  
が期待できます。

また一方、少人数であるが故の教育  
的な課題の解決のため、合同授業等に  
よる学習の集団化を図り、学習の充実  
感を味わわせることも重視する必要が  
あります。

## (二) 地域ぐるみの学校経営

へき地の学校では小規模であるため  
特に職員間の和が大切です。全職員が  
一丸となった学校経営が児童生徒に響  
き、ひいては地域を動かす原動力とな  
ります。とりわけ、へき地では人々の  
結びつきや、学校と地域の結びつきが  
強いことを学校教育に生かすことが必  
要です。

学校と学級の経営方針や教師集団の  
教育に対する考え方を学区の人々に理  
解してもらおうと同時に、地域や父母の  
学校に対する意見や要望等をよく聞き、  
それを学校の経営に具現することが大  
切です。

## (三) 体験的活動を重視した学校経営

地域を見つめ、理解し、愛し、誇り  
を持つ児童生徒を育成することは大切  
なことです。地域の伝統、生活、自  
然環境、素材等を生かした学校行事、  
創意の時間、教科指導等、地域に根ざ  
した教育活動や体験的な教育実践が重  
視されます。

また一方、新しい生活環境に身を置  
いたり、新しい事象に触れて行う活動  
体験は将来を生き抜く力や態度を育成  
するうえで重要であり、積極的に計画  
運営を工夫する必要があります。

## 二、学校の特性を生かす教育課程の編 成

へき地・小規模学校の課題として、

「経験領域の質・量面の拡大」「自  
律性・社会性・積極性」「創造力・思  
考力・表現力」等の育成があげられる  
全教育活動を通して自ら考え正しく判  
断し、積極的、創造的に活動できる児  
童生徒の育成を目指し、筋道を明らか  
にして教育課程が編成されなければな  
りません。

○ 教育課題を明確にするとともに、  
学校教育目標の具現のための全教育  
活動における構想を明確にする。

○ 各領域の計画立案に当たっては、  
領域相互の関連を図るとともに、学  
級の編成や児童生徒の数、今後の推  
移、能力差等を十分に考慮する。

○ 指導内容については、基礎的・基  
本的事項を明らかにして指導の重点  
をおさえるとともに、特に地域素材  
の教材化に努める。

○ 週時数、一日の時程等、季節等の  
実情に応ずるよう年間を見通して計  
画する。

○ 学校生活に変化と充実を与える創  
意の時間の活動や行事を地域・学校  
の特性を生かして計画する。

次に、昭和五十九年、六十年の二年  
間、文部省よりへき地教育の充実と振  
興のため指定を受けて研究を進めてき  
た上郷小学校の実践例を示すことにし  
ます。

内容は地域素材の教材化と指導のあ  
り方を理科教育を窓口として研究した  
ものです。